

「勤労者の学習に関するアンケート調査」 の結果報告書

2022年3月

公益社団法人 京都勤労者学園

はじめに

公益社団法人京都勤労者学園においては、毎年京都府の援助を得て「勤労者の状態調査、及び意識調査」を実施しています。今年度は、「勤労者の学習に関するアンケート」で、このテーマは、勤労者の状態・意識についての調査を開始して以来、ほぼ 10 年毎に実施しているもので、今年度がその実施時期となるため、同様のテーマで実施することになりました。今年度も連合京都、京都総評をはじめ京都府内の労働組合の協力を得て、傘下組合員を中心に実施しました（アンケート用紙参照）。

今回は回答用紙の回収とオンラインによる回答方式を併用して実施し、併せて 2270 人分の回答を得て集計することが出来ました。本冊子はこれをまとめたもので、今後、関係諸団体での活用を期待するところです。尚、集計、分析などはNPO法人京都社会労働問題研究所の協力を得て行いました。

なお、調査の概要は、

- 1、調査対象者：京都府内における労働組合の組合員
- 2、調査手法：労働組合を通じて職場の労働者にアンケート調査
- 3、調査時期：2021 年 9~10 月配布、11 月回収
- 4、回収枚数：2270 人分（内オンライン回答 545 人分）

調査結果の概要

勤労者の学習状況と、学習意欲に応える施策を考案するための指針を得ることを目的として、勤労者の学習に関するアンケート調査を実施した。

- 1 回答回収数は 2270 人分であった。内訳は、男性が 8 割、正社員が 9 割を超え、製造業が 4 割を占める。業務内容は製造 3 割弱、事務 2 割、事業所規模では 500 人を超える企業の雇用者が 6 割近くを占める。
- 2 休日と自由時間をみると、週休二日以上が 9 割で、前回 2011 年調査時よりも休日日数が増えている。自由時間の過ごし方は、第 1 位「テレビやインターネットなどの視聴」第 2 位「リラックス、寝る、休息する」第 3 位「子供の相手など家族の団らん」である。前回 2011 年調査時に比べ「自宅での過ごし」の割合が多く、外出を伴うほとんどの行動が減っている。コロナ禍の影響と推察できる。
- 3 学習や習い事をしている人は 14.7%にとどまっている。業種別でみると「教育・学習」の場合に 43.6%と突出している。学習や習い事の内訳では、「スポーツジム、テニス、登山等健康・運動系」が男女とも最も多く、4 割である。男性で「免許、資格の取得」女性で「語学」がそれに次いでいる。
- 4 コロナ禍・「外出自粛」によって、学習や習い事が「家での独学」となる場合が半数近くを占めている。前回 2011 年調査時に比べ非常に多くなっていることが注目される。そのほかの習い事も自宅が多い。コロナ禍による外出自粛策の影響である、と推察できる。
- 5 オンライン学習の利用を期待する人も 3 割近くで、多くなっている。しかし、オンライン否定派も 4 割を占めている。
- 6 今後の学習希望について、4 割近くが新規、及び継続を希望しているが、そうは「思わない・

したくない」も 25%を占めている。

7 学習したい動機は「自分磨き」とする例が多い。

8 学んでみたいテーマは「P C ・ I T 技術」と「語学」が多い。

9 学習・習い事に出費できる金額は「1 万円まで」が 26%と最も多く、「ほとんどない」も 20.7%と多い。

10 「現在の職業・仕事に」かかわって「自己研鑽の必要性を感じるか」について、「常に感じる」「時々感じる」を合わせ 63.2%である。特に 20 代で 70.9%に達した。「将来に向けて」の「感じる」は 70%近くで、20 代、30 代でその思いが強い。

11 「学習意欲」は「是非したい」、「条件が整えばしたい」で男性 64.1%、女性 70.9%と非常に高率である。

12 以上をまとめると、次の通りである。学習状況の傾向を見ると、学習・習い事の内容や希望などは従来とよく似た傾向であるが、学習場所として独学・家庭でと言う場合が多く、コロナ禍での外出自粛策の影響が見られる。「P C ・ I T 技術」と「語学」を期待する意向が多く示されている。また、「現在の職業・仕事に」かかわって「自己研鑽の必要性を感じる」という意識傾向は強く、注目された。

学習の方法では、オンライン学習を期待する意向も多いが、否定派も少なくない。

総じて、学習意欲が高く、とくに条件が整えばしたいという例が多いことに注目したい。勤労者に向けた学習施策を考案する際のヒントも得られたと考えられる。

回答者の属性

回答者の総数は2270人で、内訳は[男性]が1832人(80.7%)、[女性]は378人(16.7%)、年代別には[40代]が最も多く705人で31.1%を占めます。次いで[30代]が590人(26.0%)、[50代]が447人(19.7%)、[20代]が402人(17.7%)、[60代]が94人(4.1%)、[10代]が19人(0.8%)となっています(表-1)。これまでの調査時と比べて、男性比率が高くなっていることと年代構成において年齢が高くなっていることが見てとれます(表-6)。因みに、男性比率の高い業種は[運輸・建設](90.6%)、[製造業](86.1%)で、女性比率の高い業種は[医療・福祉](62.5%)、[情報・通信](46.6%)などとなっています(表-3)。

雇用形態別では、[正社員]の比率が91.9%と圧倒的で、特に男性では95.1%を占めます。女性では[正社員]が8割近く(79.4%)を占めるものの、[有期・契約](13.8%)、[パート・バイト](3.7%)と、非正規社員も一定の割合を占めています(表-2)。因みに、正社員比率の特に高い業種は[製造業](99.4%)、[運輸・建設](92.4%)です。

業種別には、[製造業]が46.3%を占め、次いで[運輸・建設関係]が17.4%、[その他]が11.1%、[公務]7.6%、[サービス業]6.3%、[情報・通信]4.5%と続きます(表-3)。

業務内容別では、男性が[製造](29.7%)をトップに、[事務](16.7%)、[輸送・運転](15.4%)、[研究・技術等専門職](14.4%)、[接客・販売・営業](10.2%)と続き、女性は[事務](45.0%)、[接客・販売・営業](18.3%)、[その他](10.1%)、[製造](8.5%)と続きます(表-4)。

企業規模別には[501人以上]規模の企業に勤務する勤労者が57.0%と半数以上を占め、[101人以上500人以下]の合計が24.2%、[100人以下]の合計が16.5%となっています(表-5)。

表-1 回答者の属性 (性別・年代別集計)

	男性		女性		回答しない		白紙		合計	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
10代	16	0.9	3	0.8	0	0.0	0	0.0	19	0.8
20代	325	17.7	73	19.3	4	10.0	0	0.0	402	17.7
30代	499	27.2	77	20.4	12	30.0	2	10.0	590	26.0
40代	575	31.4	111	29.4	15	37.5	4	20.0	705	31.1
50代	337	18.4	99	26.2	6	15.0	5	25.0	447	19.7
60代	78	4.3	14	3.7	0	0.0	2	10.0	94	4.1
白紙	2	0.1	1	0.3	3	7.5	7	35.0	13	0.6
合計	1832	100.0	378	100.0	40	100.0	20	100.0	2270	100.0
男女比		80.7		16.7		1.8		0.9		100.0

表－2 回答者の属性（就業形態別集計）

	正社員		短時間正社員		有期・契約		派遣		パート・バイト	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
男性	1743	95.1	2	0.1	45	2.5	3	0.2	8	0.4
女性	300	79.4	2	0.5	52	13.8	3	0.8	14	3.7
回答しない	35	87.5	1	2.5	2	5.0	1	2.5	0	0.0
白紙	9	45.0	0	0.0	2	10.0	0	0.0	1	5.0
合計	2087	91.9	5	0.2	101	4.4	7	0.3	23	1.0

	その他		フリーランス		無職		白紙		合計	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
男性	26	1.4	0	0.0	0	0.0	5	0.3	1832	100.0
女性	4	1.1	0	0.0	2	0.5	1	0.3	378	100.0
回答しない	1	2.5	0	0.0	0	0.0	0	0.0	40	100.0
白紙	0	0.0	0	0.0	0	0.0	8	40.0	20	100.0
合計	31	1.4	0	0.0	2	0.1	14	0.6	2270	100.0

表－3 回答者の属性（業種別集計）

	男性		女性		回答しない		白紙		合計	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
製造業	906	49.5	131	34.7	13	32.5	2	10.0	1052	46.3
卸・小売業	44	2.4	21	5.6	3	7.5	2	10.0	70	3.1
運輸・建設	357	19.5	25	6.6	8	20.0	4	20.0	394	17.4
情報・通信	53	2.9	48	12.7	1	2.5	1	5.0	103	4.5
公務	123	6.7	44	11.6	5	12.5	1	5.0	173	7.6
教育・学習支援	34	1.9	20	5.3	1	2.5	0	0.0	55	2.4
医療・福祉	6	0.3	10	2.6	0	0.0	0	0.0	16	0.7
サービス業	101	5.5	36	9.5	6	15.0	0	0.0	143	6.3
その他	204	11.1	37	9.8	1	2.5	9	45.0	251	11.1
白紙	4	0.2	6	1.6	2	5.0	1	5.0	13	0.6
合計	1832	100.0	378	100.0	40	100.0	20	100.0	2270	100.0

表－4 回答者の属性(業務内容別集計)

	男性		女性		回答しない		白紙		合計	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
接客・販売・営業	187	10.2	69	18.3	6	15.0	2	10.0	264	11.6
事務	306	16.7	170	45.0	11	27.5	2	10.0	489	21.5
看護・介護・保育	3	0.2	14	3.7	0	0.0	0	0.0	17	0.7
製造	545	29.7	32	8.5	2	5.0	1	5.0	580	25.6
建設	48	2.6	0	0.0	1	2.5	1	5.0	50	2.2
輸送・運転	282	15.4	14	3.7	10	25.0	3	15.0	309	13.6
保安・施設管理	70	3.8	1	0.3	2	5.0	0	0.0	73	3.2
運搬・清掃・包装	8	0.4	0	0.0	0	0.0	0	0.0	8	0.4
教員・セミナー講師	25	1.4	8	2.1	0	0.0	0	0.0	33	1.5
研究・技術等専門職	264	14.4	24	6.3	5	12.5	6	30.0	299	13.2
その他	75	4.1	38	10.1	0	0.0	0	0.0	113	5.0
白紙	19	1.0	8	2.1	3	7.5	5	25.0	35	1.5
合計	1832	100.0	378	100.0	40	100.0	20	100.0	2270	100.0

表－5 回答者の属性(事業所の規模別集計)

	男性		女性		回答しない		白紙		合計	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
10人以下	35	1.9	16	4.2	2	5.0	0	0.0	53	2.3
30人以下	50	2.7	17	4.5	3	7.5	0	0.0	70	3.1
50人以下	47	2.6	24	6.3	2	5.0	0	0.0	73	3.2
100人以下	127	6.9	48	12.7	4	10.0	1	5.0	180	7.9
300人以下	367	20.0	49	13.0	9	22.5	6	30.0	431	19.0
500人以下	98	5.3	19	5.0	0	0.0	1	5.0	118	5.2
501人以上	1074	58.6	193	51.1	20	50.0	7	35.0	1294	57.0
白紙	34	1.9	12	3.2	0	0.0	5	25.0	51	2.2
合計	1832	100.0	378	100.0	40	100.0	20	100.0	2270	100.0

表－6 回答者の属性の推移(性別・年代別)

	回答者数	男性比	女性比	不明	10代	20代	30代	40代	50代	60代～
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%
1984年		70.7	29.3		6.0	36.7	29.5	16.1	11.7	
1994年		74.6	25.4		2.2	28.2	26.0	25.6	18.0	
2003年	1066	72.2	27.6	0.2	1.0	20.4	36.8	22.1	19.3	
2011年	2505	78.6	21.0	0.4	0.9	15.6	31.8	26.8	17.2	7.5
2021年	2270	80.7	16.7	2.6	0.8	17.7	26.0	31.1	19.7	4.1

調査の結果

はじめに

公益社団法人京都勤労者学園は、働いている人、働いてきた人、働きたいと思っている人を対象に、教育・学習の場を提供し、労働をはじめ社会生活を充実したものにするためのサポート機関として各種の事業を展開しています。今回のアンケートは、勤労者の学習に関する状態把握とニーズについて把握するために、ほぼ10年毎に実施しているもので、経年傾向も把握し、京都勤労者学園の今後の事業内容に活かしたいと考えています。また、行政機関や労働組合の活動にも情報提供できるものと考えています。

1、週休二日以上が9割

「一週間に休日日数は何日か」を聞いたところ、「2日」は84.1%で、「2.5日」「3日以上」を加えると9割を超えます。週休二日制は、事業所の規模や業種、就業形態や業務内容を問わず全体に定着しているようですが、僅かながら、業種別での「運輸・建設」「医療・福祉」「教育・学習」、業務内容別での「輸送・運転」「建設」「教員・セミナー講師」で休日日数が少なめです（表－7、8）。また、企業規模において「10人以下」の事業所で少ないようです。

表－7 問1 一週間の休日日数(性別・年代別集計)

	男性		女性		回答しない		白紙		合計	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
①1日	65	3.5	7	1.9	3	7.5	1	5.0	76	3.3
②1.5日	117	6.4	11	2.9	6	15.0	0	0.0	134	5.9
③2日	1536	83.8	327	86.5	28	70.0	17	85.0	1908	84.1
④2.5日	95	5.2	12	3.2	1	2.5	0	0.0	108	4.8
⑤3日以上	15	0.8	18	4.8	1	2.5	1	5.0	35	1.5
白紙	4	0.2	3	0.8	1	2.5	1	5.0	9	0.4
合計	1832	100.0	378	100.0	40	100.0	20	100.0	2270	100.0

表－8 一週間の休日日数(業種別集計)

	製造		卸・小売		運輸・建設		通信・情報		公務	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
①1日	16	1.5	0	0.0	45	11.4	0	0.0	3	1.7
②1.5日	44	4.2	4	5.7	52	13.2	4	3.9	14	8.1
③2日	970	92.2	56	80.0	250	63.5	93	90.3	145	83.8
④2.5日	16	1.5	8	11.4	40	10.2	3	2.9	4	2.3
⑤3日以上	5	0.5	2	2.9	5	1.3	2	1.9	6	3.5
白紙	1	0.1	0	0.0	2	0.5	1	1.0	1	0.6
合計	1052	100.0	70	100.0	394	100.0	103	100.0	173	100.0

表－8 の続き

	教育・学習		医療・福祉		サービス業		その他		白紙		合計	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
①1日	4	7.3		0.0	4	2.8	4	1.6	0	0.0	76	3.3
②1.5日	4	7.3	3	18.8	5	3.5	4	1.6	0	0.0	134	5.9
③2日	41	74.5	11	68.8	111	77.6	223	88.8	8	61.5	1908	84.1
④2.5日	1	1.8	2	12.5	18	12.6	15	6.0	1	7.7	108	4.8
⑤3日以上	5	9.1	0	0.0	4	2.8	4	1.6	2	15.4	35	1.5
白紙	0	0.0	0	0.0	1	0.7	1	0.4	2	15.4	9	0.4
合計	55	100.0	16	100.0	143	100.0	251	100.0	13	100.0	2270	100.0

2、自由時間の過ごし方、「外出自粛」が反映か

問2で「自由時間の過ごし方」を聞いたところ、男女とも「テレビやインターネットなどの視聴」がトップで、次いで「リラックス、寝る、休息する」「子供の相手など家族の団らん」と続いています。男性ではその次には「家や外でお酒を飲む」「散歩、ジョギング、ヨガなどの運動」「街でショッピングや食べ歩き」と続き、女性では「街でショッピングや食べ歩き」「散歩、ジョギング、ヨガなどの運動」などとなっています。この間で「習い事、学習、スクール・サークルなどに行く」は7%にとどまっています（表－9）。

表－9 問2 自由時間の過ごし方(性別集計＝複数選択可)

	男性		女性		回答しない		白紙		合計	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
①子供の相手など家族との団らん	747	40.8	131	34.7	8	20.0	8	40.0	894	39.4
②テレビやインターネットなどの視聴	1253	68.4	265	70.1	12	30.0	10	50.0	1540	67.8
③習い事、学習、スクール・サークルなど	107	5.8	47	12.4	3	7.5	3	15.0	160	7.0
④映画館、ライブ、観劇など	136	7.4	44	11.6	3	7.5	2	10.0	185	8.1
⑤家や外でお酒を飲む	416	22.7	50	13.2	11	27.5	4	20.0	481	21.2
⑥街でショッピングや食べ歩き	265	14.5	104	27.5	5	12.5	3	15.0	377	16.6
⑦パチンコ、競馬、麻雀をする	174	9.5	3	0.8	4	10.0	2	10.0	183	8.1
⑧散歩、ジョギング、ヨガなどの運動	358	19.5	68	18.0	5	12.5	4	20.0	435	19.2
⑨読書	182	9.9	53	14.0	5	12.5	2	10.0	242	10.7
⑩地域活動、ボランティアに参加	63	3.4	6	1.6	0	0.0	0	0.0	69	3.0
⑪リラックス、寝る、休息する	805	43.9	210	55.6	18	45.0	10	50.0	1043	45.9
⑫その他	99	5.4	25	6.6	3	7.5	0	0.0	127	5.6
白紙	3	0.2	1	0.3	1	2.5	1	5.0	6	0.3
合計	4608	251.5	1007	266.4	78	195.0	49	245.0	5742	253.0
分母数	1832		378		40		20		2270	

年代別では30代、40代で「テレビやインターネットなどの視聴」がトップであるものの、2番目には「子供の相手など家族との団らん」が続き、他方、10代、20代、50代以上では「リラックス、

寝る、休息する」が2番目にあがっています。年代別傾向をもう少し詳しくみると、10代、20代では「テレビやインターネットなどの視聴」が平均値（67.7%）を大きく上回る（10代89.5%、20代78.4%）ほか、「リラックス、寝る、休息する」も半数前後と高い比率を占めています（表－10）。

表－10 自由時間の過ごし方（年代別集計＝複数選択可）

	10代		20代		30代		40代		50代		60代		白紙		合計	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
①子供の相手など家族との団らん	1	5.3	82	20.4	299	50.7	360	51.1	134	30.0	14	14.9	4	30.8	894	39.4
②テレビやインターネットなどの視聴	17	89.5	315	78.4	389	65.9	468	66.4	283	63.3	62	66.0	3	23.1	1537	67.7
③習い事、学習、スクール・サークルなど	0	0.0	28	7.0	47	8.0	39	5.5	32	7.2	12	12.8	0	0.0	158	7.0
④映画館、ライブ、観劇など	2	10.5	53	13.2	48	8.1	42	6.0	28	6.3	11	11.7	0	0.0	184	8.1
⑤家や外でお酒を飲む	1	5.3	84	20.9	127	21.5	152	21.6	101	22.6	14	14.9	1	7.7	480	21.1
⑥街でショッピングや食べ歩き	4	21.1	73	18.2	91	15.4	109	15.5	89	19.9	10	10.6	1	7.7	377	16.6
⑦パチンコ、競馬、麻雀をする	0	0.0	27	6.7	46	7.8	67	9.5	38	8.5	5	5.3	0	0.0	183	8.1
⑧散歩、ジョギング、ヨガなどの運動	2	10.5	73	18.2	85	14.4	130	18.4	118	26.4	26	27.7	0	0.0	434	19.1
⑨読書	1	5.3	37	9.2	67	11.4	65	9.2	51	11.4	21	22.3	0	0.0	242	10.7
⑩地域活動、ボランティアに参加	0	0.0	2	0.5	10	1.7	18	2.6	30	6.7	9	9.6	0	0.0	69	3.0
⑪リラックス、寝る、休息する	9	47.4	218	54.2	245	41.5	311	44.1	213	47.7	41	43.6	2	15.4	1039	45.8
⑫その他	2	10.5	19	4.7	23	3.9	38	5.4	35	7.8	10	10.6	0	0.0	127	5.6
白紙	0	0.0	1	0.2	1	0.2	0	0.0	1	0.2	1	1.1	2	15.4	6	0.3
合計	39	205.3	1012	251.7	1478	250.5	1799	255.2	1153	257.9	236	251.1	13	100.0	5730	252.4
分母数	19		402		590		705		447		94		13		2270	

表－11 「休日の過ごし方」の年次比較

(%)

	男性					女性				
	1984年	1994年	2003年	2011年	2021年	1984年	1994年	2003年	2011年	2021年
子供の相手など家族の団らん	51.4	58.9	37.3	44.4	40.8	34.1	52.2	29.6	35.3	34.7
テレビやインターネットの視聴			51.2	55.9	68.4			51.0	47.2	70.1
習い事、学習、スクールなど	9.1	17.0	22.5	5	5.8	6.3	14.1	25.9	19.7	12.4
映画、ライブ、観劇など	16.6	18.5	15.5	17.5	7.4	20.4	16.6	26.9	25.6	11.6
家や外でお酒を飲む	12.7	12.3	18.3	19.6	22.7	12.9	13.7	8.2	7.0	13.2
街でショッピングや食べ歩き	11.7	12.1	16.5	25.1	14.5	51.4	50.7	45.2	44.6	27.5
パチンコ、競馬、麻雀など	24.2	25.3	23.3	18.9	9.5	4.3	6.8	1.7	1.1	0.8
散歩、ジョギングなど運動する	37.7	33.1	28.4	30.2	19.5	26.3	26.9	14.6	21.1	18.0
読書(趣味)	12.5	13.5		14.6	9.9	21.2	17.6		26.2	14.0
地域活動、ボランティア	10.1	8.2		7.5	3.4	9.8	4.4		7.8	1.6
リラックス、寝る、休息			37.9		43.9			51.4		55.6
その他	3.6	9.2	8.1	7	5.4	7.8	14.7	10.2	7.6	6.6

コロナ禍の影響があるのかもしれませんが、若い世代の方が「巣ごもり」傾向を示しており、外出を伴う行動様式の傾向は低いようです。一方、60代では「子供の相手など家族との団らん」は少なく（14.9%）、「習い事・・・」「散歩・・・」「読書・・・」「地域活動・・・」など幅広い行動傾向が見受けられます。業種や業務、企業規模などによる違いは部分的には見られますが、特段の違いがあるとは言えないようです。

休日の過ごし方については、1984年の初回から同種の設問を設定して尋ねていますが、世情を反映させて選択肢を少しだけ変化させています。そのため経年傾向として断じることは出来ませんが、2003年、2011年調査の結果と比べて、「自宅での過ごし」の割合が多く、「映画館・・・」「街でショッピング・・・」「散歩・・・」「地域活動・・・」など、外出を伴う行動様式が一様に減少しています。コロナ禍における「外出自粛」の行動様式が定着している状況が推察されます（表－11）。

3、学習や習い事「している」人は減少

問3で「現在、学習や習い事をしているか」を聞いたところ、「していない」が8割を超え、これまでの同調査のデータと比べても男女ともに高く、学習や習い事を「している」は減少し、14.7%(334人)にとどまっています（表－12）。

表－12 問3 学習や習い事をしているか(性別集計)

	男性		女性		回答しない		白紙		合計	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
①していない	1592	86.9	272	72.0	31	77.5	16	80.0	1911	84.2
②している	220	12.0	105	27.8	6	15.0	3	15.0	334	14.7
白紙	20	1.1	1	0.3	3	7.5	1	5.0	25	1.1
合計	1832	100.0	378	100.0	40	100.0	20	100.0	2270	100.0

表－13 学習や習い事をしているか（年代別集計）

	10代		20代		30代		40代		50代		60代		白紙		合計	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
①していない	19	100.0	338	84.1	486	82.4	611	86.7	372	83.2	75	79.8	10	76.9	1911	84.2
②している	0	0.0	64	15.9	97	16.4	86	12.2	68	15.2	17	18.1	2	15.4	334	14.7
白紙	0	0.0	0	0.0	7	1.2	8	1.1	7	1.6	2	2.1	1	7.7	25	1.1
合計	19	100.0	402	100.0	590	100.0	705	100.0	447	100.0	94	100.0	13	100.0	2270	100.0

表－14 学習や習い事をしているか（業種別集計）

	製造		卸・小売		運輸・建設		通信・情報		公務	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
①していない	875	83.2	62	88.6	346	87.8	86	83.5	141	81.5
②している	174	16.5	8	11.4	36	9.1	17	16.5	24	13.9
白紙	3	0.3	0	0.0	12	3.0	0	0.0	8	4.6
合計	1052	100.0	70	100.0	394	100.0	103	100.0	173	100.0

	教育・学習		医療・福祉		サービス業		その他		白紙		合計	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
①していない	31	56.4	13	81.3	129	90.2	219	87.3	9	69.2	1911	84.2
②している	24	43.6	3	18.8	14	9.8	30	12.0	4	30.8	334	14.7
白紙	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	0.8	0	0.0	25	1.1
合計	55	100.0	16	100.0	143	100.0	251	100.0	13	100.0	2270	100.0

年代別にみても「していない」が60代を除いて軒並み8割を超えています。「している」が1割台と少ないのは年代や業種など全体に共通する傾向ですが、業種別の「教育・学習」で「している」が43.6%と比較的高い割合になっています。年次推移は別表の通りで、「していない」人の多さが目立っています。ただ、前回調査には回答者に学園受講者が一定数含まれている（2505人中136人）ため単純な評価は出来ないでしょう（表－13、14、15）。

表－15 「現在、学習や習い事をしていない人」の年次比較（%）

	1984年	1994年	2003年	2011年	2021年
男性	87.5	88.6	76.4	69.0	86.9
女性	60.8	59.0	61.2	48.9	72.0
合計	79.7	81.0	72.1	64.5	84.2

このアンケート調査の実施時期が新型コロナウイルス感染症の流行（第五波）の直後であったため、感染予防対策が進み、定着していた外出自粛の行動様式がこうした学習や習い事にも大きく影響しているのではないかと推察されます。

それではその内容などについてみてみましょう。学習や習い事を「している」人（334人）のその内容をみると、「スポーツジム、テニス、登山等の健康・運動系」が男女とも最も多く、男性40.5%（全体比4.9%）、女性では41.0%（同11.4%）、次いで男性では「免許、資格の取得」（24.1%）、「語学」（23.6%）「PC・IT技術」（16.4%）と続き、女性では「語学」（27.6%）、「書道、絵画、音楽、陶芸等の芸術系」（17.1%）、「料理、和洋裁・・・技術系」（15.2%）と続きます（表－16）。

表－16 問3-a 学習や習い事の内容(問 3②中 性別集計＝複数選択可)

	男性			女性			全体合計		
	人	%	全体比	人	%	全体比	人	%	全体比
①語学	52	23.6	2.8	29	27.6	7.7	86	25.7	3.8
②エクセル、プログラミング等の PC・IT 技術	36	16.4	2.0	3	2.9	0.8	40	12.0	1.8
③免許、資格の取得	53	24.1	2.9	15	14.3	4.0	71	21.3	3.1
④料理、和洋裁、メイク、木工等の技術系	7	3.2	0.4	16	15.2	4.2	23	6.9	1.0
⑤書道、絵画、音楽、陶芸等の芸術系	13	5.9	0.7	18	17.1	4.8	31	9.3	1.4
⑥茶道、歴史、文学、将棋等の文化系	6	2.7	0.3	6	5.7	1.6	12	3.6	0.5
⑦スポーツジム、テニス、登山等の健康・運動系	89	40.5	4.9	43	41.0	11.4	135	40.4	5.9
⑧株式、資産運用等の金融系	21	9.5	1.1	4	3.8	1.1	25	7.5	1.1
⑨ガーデニング、農業等の自然系	11	5.0	0.6	1	1.0	0.3	12	3.6	0.5
⑩その他	22	10.0	1.2	9	8.6	2.4	32	9.6	1.4
している人の合計	220	100.0	12.0	105	100.0	27.8	334	100.0	14.7

表－17 学習や習い事の内容(問3②中 年代別集計＝複数選択可)

	10 代		20 代		30 代		40 代		50 代		60 代		白紙		合計	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
①語学	0	0.0	15	3.7	30	5.1	26	3.7	12	2.7	2	2.1	1	7.7	86	3.8
②エクセル、プログラミング等の PC・IT 技術	0	0.0	8	2.0	17	2.9	6	0.9	9	2.0	0	0.0	0	0.0	40	1.8
③免許、資格の取得	0	0.0	12	3.0	26	4.4	17	2.4	12	2.7	3	3.2	1	7.7	71	3.1
④料理、和洋裁、メイク、木工等の技術系	0	0.0	5	1.2	8	1.4	5	0.7	3	0.7	2	2.1	0	0.0	23	1.0
⑤書道、絵画、音楽、陶芸等の芸術系	0	0.0	6	1.5	8	1.4	6	0.9	9	2.0	2	2.1	0	0.0	31	1.4
⑥茶道、歴史、文学、将棋等の文化系	0	0.0	0	0.0	3	0.5	3	0.4	5	1.1	1	1.1	0	0.0	12	0.5
⑦スポーツジム、テニス、登山等の健康・運動系	0	0.0	22	5.5	44	7.5	34	4.8	26	5.8	8	8.5	1	7.7	135	5.9
⑧株式、資産運用等の金融系	0	0.0	5	1.2	14	2.4	4	0.6	2	0.4	0	0.0	0	0.0	25	1.1
⑨ガーデニング、農業等の自然系	0	0.0	0	0.0	3	0.5	2	0.3	6	1.3	1	1.1	0	0.0	12	0.5
⑩その他	0	0.0	6	1.5	4	0.7	8	1.1	11	2.5	2	2.1	1	7.7	32	1.4
している人の合計	0	0.0	64	15.9	97	16.4	86	12.2	68	15.2	17	18.1	2	15.4	334	14.7

年代別に傾向をみると、少ない中でも 30 代で「している」人の比率も高く、各分野への挑戦度合いも高いようです。また、全体として若年層では「語学」や「PC・IT 技術」「免許・資格取得」などが多く、中高年層では「スポーツジム、テニス、登山等の健康・運動系」「免許・資格の取得」とともに「芸術系」「文化系」や「自然系」が目につきます(表－17)。

前回 2011 年調査とは選択肢において若干の違いがあるため、単純比較は出来ませんが、同じような項目ごとの比較をしてみると、どの項目においても前回調査より大きく減少しています。中でも「語学」は人数において半減しています(表－18)。

表－18 「学習や習い事の内容」の年次比較(回答者中の比率)

(%)

	男性		女性	
	2011 年	2021 年	2011 年	2021 年
語学	5.6	2.8	8.7	7.7
エクセルなどP C、I T技術	1.6	2.0	0.9	0.8
免許、資格の取得	4.3	2.9	3.6	4.0
料理、和洋裁、メイク等技術	0.8	0.4	3.6	4.2
書道、絵画、音楽等芸術	2.0	0.7	10.6	4.8
茶道、歴史、文学など文化系	1.9	0.3	1.9	1.6
スポーツジム、など健康・運動	7.2	4.9	18.0	11.4
株式、資産運用など金融系	0.9	1.1	0.0	1.1
ガーデニング、農業等自然	0.7	0.6	0.0	0.3
その他	2.4	1.2	4.4	2.4

4、コロナ禍、「外出自粛」がもたらす学習活動への影響

学習や習い事の場所についても聞きました。「家での独学」が半数近くを占め(47.9%)、前回調査と比べて著しく多くなっています。「料理、和洋裁、メイク、木工等の技術系」「書道、絵画、音楽、陶芸等の芸術系」「スポーツジム、テニス、登山などの健康・運動系」は、自宅より民間、公的、或いは個人が運営する施設やスクールなど外出を伴う施設での学習や習い事の割合が高いものの、「語学」や「P C・I Tなどの技術」「免許、資格の取得」「茶道、歴史、文学などの文化系」などは自宅での独学が主流のようです。コロナ禍の影響と共に、インターネットの普及が大きく影響しているものと思われます(表－19、20)。

表－19 問3-b 学習や習い事をしている場所は(問3②中 性別集計＝複数選択可)

	男性		女性		回答しない		白紙		合計	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
①民間の学習施設、スクール、ジム等で	71	32.3	39	37.1	3	50.0	1	33.3	114	34.1
②公的施設での教室、スクール、ジム等で	16	7.3	15	14.3	0	0.0	0	0.0	31	9.3
③個人経営の教室等で	12	5.5	23	21.9	0	0.0	1	33.3	36	10.8
④私的なサークルや同好会、または友人と	22	10.0	15	14.3	1	16.7	0	0.0	38	11.4
⑤専門学校で	0	0.0	1	1.0	0	0.0	0	0.0	1	0.3
⑥小、中、高校、大学の市民講座で	3	1.4	0	0.0	0	0.0	0	0.0	3	0.9
⑦大学(社会人入学等)で	1	0.5	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	0.3
⑧社内の教育施設やサークル(企業主催)で	12	5.5	4	3.8	0	0.0	0	0.0	16	4.8
⑨労働組合主催の学習会やサークルで	4	1.8	4	3.8	0	0.0	0	0.0	8	2.4
⑩家で(独学、YouTube 等のメディアを使って)	122	55.5	33	31.4	4	66.7	1	33.3	160	47.9
⑪その他	11	5.0	5	4.8	1	16.7	0	0.0	17	5.1
している人の合計	220	100.0	105	100.0	6	100.0	3	100.0	334	100.0

表－20 同上(学習の内容と場所のクロス集計＝複数選択可)

	語学		P C / I T 技術		免許・資格		料理等技術		書道等芸術		文化系		健康・運動		金融系		農業等自然		その他	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
①民間の学習施設、 スクール、ジム等で	28	32.6	7	17.5	13	18.3	12	52.2	13	41.9	3	25.0	82	60.7	7	28.0	3	25.0	5	15.6
②公的施設での教室、 スクール、ジム等で	6	7.0	5	12.5	6	8.5	5	21.7	3	9.7	1	8.3	17	12.6	6	24.0	2	16.7	1	3.1
③個人経営の教室 等で	7	8.1	1	2.5	1	1.4	7	30.4	17	54.8	2	16.7	22	16.3	2	8.0	0	0.0	1	3.1
④私的なサークル や同好会、または友人と	10	11.6	5	12.5	4	5.6	6	26.1	8	25.8	4	33.3	24	17.8	3	12.0	4	33.3	5	15.6
⑤専門学校で	1	1.2	0	0.0	0	0.0	1	4.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
⑥小、中、高校、大 学の市民講座で	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	3.2	1	8.3	1	0.7	0	0.0	0	0.0	1	3.1
⑦大学(社会人入学 等)で	1	1.2	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
⑧社内の教育施設 やサークル(企業主 催)で	4	4.7	0	0.0	3	4.2	2	8.7	0	0.0	0	0.0	10	7.4	0	0.0	0	0.0	2	6.3
⑨労働組合主催の 学習会やサークル で	2	2.3	0	0.0	2	2.8	2	8.7	2	6.5	1	8.3	3	2.2	1	4.0	1	8.3	1	3.1
⑩家で(独学、 YouTube等のメ ディアを使って)	60	69.8	37	92.5	60	84.5	8	34.8	11	35.5	9	75.0	29	21.5	22	88.0	8	66.7	15	46.9
⑪その他	4	4.7	1	2.5	5	7.0	0	0.0	1	3.2	0	0.0	2	1.5	1	4.0	2	16.7	5	15.6
合計(分母数)	86	100.0	40	100.0	71	100.0	23	100.0	31	100.0	12	100.0	135	100.0	25	100.0	12	100.0	32	100.0

学習や習い事に費やしている時間は、1週間の内「2時間未満」が最も多いものの、前回調査と比べると「2時間未満」は減少し、「5時間未満」「10時間未満」が増え、学習や習い事の時間は伸びています。やはり自宅での学習が増えていることと併せて外出自粛生活の影響が出ているのではないかと思います(表－21、22)。

表－21 問3-c 学習や習い事に費やしている時間は(問3②中 性別集計)

	男性		女性		回答しない		白紙		合計	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
①2時間未満	91	41.4	52	49.5	1	16.7	1	33.3	145	43.4
②5時間未満	64	29.1	37	35.2	3	50.0	1	33.3	105	31.4
③10時間未満	34	15.5	9	8.6	1	16.7	0	0.0	44	13.2
④10時間以上	24	10.9	4	3.8	1	16.7	1	33.3	30	9.0
白紙	7	3.2	3	2.9	0	0.0	0	0.0	10	3.0
している人の合計	220	100.0	105	100.0	6	100.0	3	100.0	334	100.0

表－22 学習や習い事に費やしている時間の年次比較(問3②中 学習内容別集計) (%)

	語学		P C、I T技術		免許、資格		健康、運動	
	2011 年	2021 年	2011 年	2021 年	2011 年	2021 年	2011 年	2021 年
①2 時間未満	48.7	39.5	25	30.0	50.0	38.0	46.6	40.7
②5 時間未満	32.7	29.1	38.9	32.5	25.0	29.6	30.5	36.3
③10 時間未満	9	17.4	16.7	25.0	7.7	21.1	8.1	11.1
④10 時間以上	6.4	11.6	16.7	10.0	11.5	8.5	6.8	9.6
している人の合計	156 人	86 人	36 人	40 人	104 人	71 人	236 人	135 人

コロナ禍での学習や習い事への影響について聞いたところ、「対面、実地での学習や習い事の手機が減った」(28.1%)、「オンラインで学習や習い事をする手機が増えた」(21.6%)と、手機があったとする人が半数近くのにのびります(表－23)。

表－23 問3-d コロナ禍での学習や習い事への手機は(問3②中 性別集計)

	男性		女性		回答しない		白紙		合計	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
①コロナ禍/コロナ禍以降、対面・実地での学習手機が減少	50	22.7	42	40.0	1	16.7	1	33.3	94	28.1
②コロナ禍/コロナ禍以降、オンライン学習の手機の手機増加	45	20.5	22	21.0	5	83.3	0	0.0	72	21.6
③コロナ禍の手機は特にな	110	50.0	38	36.2	0	0.0	2	66.7	150	44.9
④わからない	10	4.5	2	1.9	0	0.0	0	0.0	12	3.6
白紙	5	2.3	1	1.0	0	0.0	0	0.0	6	1.8
合計	220	100.0	105	100.0	6	100.0	3	100.0	334	100.0

5、オンライン学習の手機は4分の1

問4では「オンラインの学習や習い事を利用したことがあるか」を聞きました。今回初めて設けた設問ですが、「ある」は24.1%で4分の1の人が利用したことがあるとしています。10代、20代の若年者の方が利用した手機が多いようです(表－24、25)。

表－24 問4 オンラインの学習や習い事を利用したことは(性別・年代別集計)

	男性		女性		回答しない		白紙		合計	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
①ある	406	22.2	128	33.9	12	30.0	2	10.0	548	24.1
②ない	1416	77.3	248	65.6	28	70.0	17	85.0	1709	75.3
③その他	2	0.1	1	0.3	0	0.0	0	0.0	3	0.1
白紙	8	0.4	1	0.3	0	0.0	1	5.0	10	0.4
合計	1832	100.0	378	100.0	40	100.0	20	100.0	2270	100.0

	10 代		20 代		30 代		40 代		50 代		60 代		白紙	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
①ある	6	31.6	105	26.1	144	24.4	166	23.5	99	22.1	26	27.7	2	15.4
②ない	13	68.4	295	73.4	445	75.4	534	75.7	345	77.2	67	71.3	10	76.9
③その他	0	0.0	0	0.0	0	0.0	3	0.4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
白紙	0	0.0	2	0.5	1	0.2	2	0.3	3	0.7	1	1.1	1	7.7
合計	19	100.0	402	100.0	590	100.0	705	100.0	447	100.0	94	100.0	13	100.0

表－25 オンラインの学習や習い事を利用したことは(業種別集計)

	製造		卸・小売		運輸・建設		通信・情報		公務	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
①ある	312	29.7	21	30.0	35	8.9	25	24.3	26	15.0
②ない	733	69.7	49	70.0	356	90.4	77	74.8	147	85.0
③その他	1	0.1	0	0.0	1	0.3	0	0.0	0	0.0
白紙	6	0.6	0	0.0	2	0.5	1	1.0	0	0.0
合計	1052	100.0	70	100.0	394	100.0	103	100.0	173	100.0

	教育・学習		医療・福祉		サービス業		その他		白紙		合計	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
①ある	32	58.2	10	62.5	33	23.1	52	20.7	2	15.4	548	24.1
②ない	23	41.8	6	37.5	110	76.9	197	78.5	11	84.6	1709	75.3
③その他	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	0.4	0	0.0	3	0.1
白紙	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	0.4	0	0.0	10	0.4
合計	55	100.0	16	100.0	143	100.0	251	100.0	13	100.0	2270	100.0

そして、今後の意向については(問5)「今後もオンラインで学習したい」は13.0%と少数派ながらも、「オンラインでも学習してみたい」は28.6%と3割近くを占めます。他方、「オンラインより対面、実地で学習したい」(19.2%)「オンライン学習はしたくない」(14.8%)「オンラインでは学習できないと思う」(5.4%)と、オンライン学習に否定的な意見も4割近くを占めます(表－26、27)。

表－26 問5 オンラインでの学習や習い事への気持ちは(性別・年代別集計)

	男性		女性		回答しない		白紙		合計	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
①今後もオンラインで学習したい	218	11.9	70	18.5	6	15.0	2	10.0	296	13.0
②未経験だが、興味のある内容ならオンライン学習してみたい	522	28.5	118	31.2	3	7.5	7	35.0	650	28.6
③オンラインより対面/実地で学習したい	343	18.7	87	23.0	5	12.5	1	5.0	436	19.2
④オンラインでは学習できないと思う	102	5.6	17	4.5	2	5.0	1	5.0	122	5.4
⑤オンライン学習はしたくない	288	15.7	37	9.8	9	22.5	3	15.0	337	14.8
⑥わからない	328	17.9	47	12.4	13	32.5	5	25.0	393	17.3
⑦その他	13	0.7	1	0.3	2	5.0	0	0.0	16	0.7
白紙	18	1.0	1	0.3	0	0.0	1	5.0	20	0.9
合計	1832	100.0	378	100.0	40	100.0	20	100.0	2270	100.0

	10代		20代		30代		40代		50代		60代		白紙	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
①今後もオンラインで学習したい	2	10.5	50	12.4	86	14.6	94	13.3	51	11.4	12	12.8	1	7.7
②未経験だが、興味のある内容ならオンライン学習してみたい	3	15.8	133	33.1	173	29.3	202	28.7	116	26.0	21	22.3	2	15.4
③オンラインより対面/実地で学習した	4	21.1	72	17.9	111	18.8	137	19.4	97	21.7	14	14.9	1	7.7
④オンラインでは学習できないと思う	1	5.3	18	4.5	34	5.8	40	5.7	23	5.1	6	6.4	0	0
⑤オンライン学習はしたくない	5	26.3	58	14.4	91	15.4	95	13.5	65	14.5	21	22.3	2	15.4
⑥わからない	3	15.8	69	17.2	88	14.9	127	18.0	84	18.8	17	18.1	5	38.5
⑦その他	0	0.0	1	0.2	2	0.3	6	0.9	6	1.3	0	0.0	1	7.7
白紙	1	5.3	1	0.2	5	0.8	4	0.6	5	1.1	3	3.2	20	7.7
合計	19	100.0	402	100.0	590	100.0	705	100.0	447	100.0	94	100.0	13	100.0

6、「今後、学習したいと思わない」は過去最高

問6では、「今後、学習や習い事を継続、もしくは新しく始めたいか」を尋ねたところ、「新しく始めたい、又は継続したい」が36.8%（836人）を占め、特に女性では56.6%と半数を上回ります。他方、「思わない、したくない」も全体で25.0%を占め、これまでで最も高い割合になります。

年代別には20代、30代で意欲の高さが窺われます（表-27）。

現在、学習や習い事を「している人」では大半（87.1%）の人が「始めたい、継続したい」としています（表-28）。

表-27 問6 今後、学習や習い事を始めたいか継続したいか(性別、年代別集計)

	男性		女性		回答しない		白紙		合計	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
①新しく始めたい、又は現在している学習を継続したい	605	33.0	214	56.6	11	27.5	6	30.0	836	36.8
②始めたいと思わない、又は継続したくない	505	27.6	50	13.2	10	25.0	3	15.0	568	25.0
③わからない	680	37.1	110	29.1	15	37.5	9	45.0	814	35.9
白紙	42	2.3	4	1.1	4	10.0	2	10.0	52	2.3
合計	1832	100.0	378	100.0	40	100.0	20	100.0	2270	100.0

	10代		20代		30代		40代		50代		60代		白紙	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
①新しく始めたい、又は現在している学習を継続したい	4	21.1	154	38.3	232	39.3	249	35.3	162	36.2	31	33.0	4	30.8
②始めたいと思わない、又は継続したくない	4	21.1	111	27.6	152	25.8	180	25.5	95	21.3	23	24.5	3	23.1
③わからない	7	36.8	127	31.6	196	33.2	265	37.6	180	40.3	36	38.3	3	23.1
白紙	4	21.1	10	2.5	10	1.7	11	1.6	10	2.2	4	4.3	3	23.1
合計	19	100.0	402	100.0	590	100.0	705	100.0	447	100.0	94	100.0	13	100.0

表-28 問6 今後、学習や習い事を始めたいか継続したいか(問3で「している」と答えた人とのクロス集計)

	男性		女性		回答しない		白紙		合計	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
①新しく始めたい、又は現在している学習を継続したい	185	84.1	97	92.4	6	100.0	3	100.0	291	87.1
②始めたいと思わない、又は継続したくない	15	6.8	2	1.9	0	0.0	0	0.0	17	5.1
③わからない	18	8.2	5	4.8	0	0.0	0	0.0	23	6.9
白紙	2	0.9	1	0.9	0	0.0	0	0.0	3	0.9
合計	220	100.0	105	100.0	6	100.0	3	100.0	334	100.0

表－29 「学習や習い事をしたい動機」の年次比較

(%)

	男性				女性			
	1994 年	2003 年	2011 年	2021 年	1994 年	2003 年	2011 年	2021 年
現在の仕事に必要なだから	30.0	19.9	16.7	6.6	15.6	21.4	14.2	7.9
今後の仕事に活かす、又は仕事にかかる自己研鑽のため	3.8	15.5	24.7	15.8	6.8	15.3	20.1	20.1
資格を取るため	22.3	12.3	6.5	7.4	18.0	13.6	10.0	7.1
労働組合や社会活動に活かすため	10.2	4.0	4.5	2.3	9.3	2.4	1.9	2.6
自分の趣味を豊かにするため	43.8	25.8	27.4	14.3	60.0	38.8	51.6	32.5
自己研鑽、教養、知的好奇心のため	23.3	19.6	20.0	13.4	24.4	23.5	29.6	23.0
その他（特にないやわからないも含む）	7.3	2.1	36.0	37.1	11.7	3.1	19.4	29.1
したいとは思わない	11.5	12.9	4.2	27.6	2.9	9.2	5.7	13.2

7、学習したい動機は「自分磨き」

次に「学習を始めたい、継続したい」という人（836人）に動機とテーマについて尋ねました。動機については、「自分の趣味を豊かにするため」が最も多く46.5%を占め（全体比では17.1%）、次いで「今後の仕事に活かす、又は仕事にかかる自己研鑽のため」が44.6%（同16.4%）、「自己研鑽、教養を高めるため、知的好奇心から」が40.8%（同15.0%）と続きます。男性より女性の方が意欲は高く、動機も仕事のためというより「趣味を豊かにする」（57.5%）や「自己研鑽、教養、知的好奇心」（40.7%）など「自分磨き」という傾向が強くなっています（表－29、30）。

年齢別には、20代、30代で「今後の仕事、又は仕事にかかる自己研鑽のため」が半数以上になっていますが、50代、60代では「仕事のため」というより、「趣味」や「自己研鑽」という動機が主流になっています。

表－30 問6－a 学習や習い事をしたい動機は？（性別・年代別集計＝複数選択可）

	男性		女性		回答しない		白紙		合計	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
①現在の仕事に必要なだから	121	20.0	30	14.0	3	27.3	0	0.0	154	18.4
②今後の仕事に活かす、または仕事にかかる自己研鑽のため	290	47.9	76	35.5	4	36.4	3	50.0	373	44.6
③資格を取るため	136	22.5	27	12.6	3	27.3	0	0.0	166	19.9
④労働組合や社会活動に活かすため	43	7.1	10	4.7	0	0.0	0	0.0	53	6.3
⑤自分の趣味を豊かにするため	262	43.3	123	57.5	2	18.2	2	33.3	389	46.5
⑥仕事を問わず自己研鑽、教養を高めるため/知的好奇心から	246	40.7	87	40.7	6	54.5	2	33.3	341	40.8
⑦その他	17	2.8	8	3.7	2	18.2	0	0.0	27	3.2
したい人の合計	605	100.0	214	100.0	11	100.0	6	100.0	836	100.0

表－30 の続き

	10 代		20 代		30 代		40 代		50 代		60 代		白紙	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
①現在の仕事に必要だから	0	0.0	36	23.4	47	20.3	46	18.5	20	12.3	5	16.1	0	0.0
②今後の仕事に活かす、または仕事にかかる自己研鑽のため	0	0.0	77	50.0	117	50.4	122	49.0	52	32.1	3	9.7	2	50.0
③資格を取るため	0	0.0	35	22.7	48	20.7	54	21.7	27	16.7	2	6.5	0	0.0
④労働組合や社会活動に活かすため	0	0.0	4	2.6	15	6.5	19	7.6	12	7.4	3	9.7	0	0.0
⑤自分の趣味を豊かにするため	3	75.0	67	43.5	106	45.7	107	43.0	83	51.2	22	71.0	1	25.0
⑥仕事を問わず自己研鑽、教養を高めるため/知的好奇心から	1	25.0	58	37.7	98	42.2	102	41.0	70	43.2	11	35.5	1	25.0
⑦その他	1	25.0	1	0.6	9	3.9	9	3.6	6	3.7	1	3.2	0	0.0
したい人の合計	4	100.0	154	100.0	232	100.0	249	100.0	162	100.0	31	100.0	4	100.0

8、学んでみたいテーマは「PC・IT技術」「語学」

学びたいテーマは、男性では「PC・IT技術」（40.8%）がトップで、次いで「語学」（35.2%）「免許、資格の取得」（31.2%）と続き、女性では「語学」（39.7%）がトップで、「健康・運動系」（30.8%）「PC・IT技術」（29.9%）と続き、「料理・・・技術系」（24.3%）「書道・・・芸術系」（23.4%）なども強い関心がもたれています。学習意欲の高い若年層では特に「語学」「PC・IT技術」についての関心の高さが目につきます。しかし、前回や前々回調査と比較してみると選択肢が若干異なっていますが、全体として意欲や関心は低下している傾向が見受けられ、やはり「外出自粛」の影響とともに、インターネット活用による知識や情報取得の定着も影響しているのではないかと考えられます（表－31、32）。

表－31 問6－b 学んでみたいテーマは何ですか(性別・年代別集計＝複数選択可)

	男性			女性			回答しない			合計		
	人	%	全体比	人	%	全体比	人	%	全体比	人	%	全体比
①語学	213	35.2	11.6	85	39.7	22.5	6	54.5	15.0	306	36.6	13.5
②エクセル、プログラミングなどのPC・IT技術	247	40.8	13.5	64	29.9	16.9	3	27.3	7.5	315	37.7	13.9
③免許、資格の取得	189	31.2	10.3	44	20.6	11.6	4	36.4	10.0	239	28.6	10.5
④料理、和洋裁、メイク、木工などの技術系	51	8.4	2.8	52	24.3	13.8	0	0.0	0.0	104	12.4	4.6
⑤書道、絵画、音楽、陶芸等の芸術系	57	9.4	3.1	50	23.4	13.2	1	9.1	2.5	108	12.9	4.8
⑥茶道、歴史、文学、将棋等の文化系	34	5.6	1.9	17	7.9	4.5	0	0.0	0.0	51	6.1	2.2
⑦スポーツジム、テニス、登山等の健康・運動系	155	25.6	8.5	66	30.8	17.5	2	18.2	5.0	223	26.7	9.8
⑧株式、資産運用等の金融系	137	22.6	7.5	27	12.6	7.1	1	9.1	2.5	165	19.7	7.3
⑨ガーデニング、農業等の自然系	56	9.3	3.1	17	7.9	4.5	0	0.0	0.0	73	8.7	3.2
その他	27	4.5	1.5	5	2.3	1.3	1	9.1	2.5	34	4.1	1.5
学習したい、継続したい人の合計	605	100.0	33.0	214	100.0	56.6	11	100.0	27.5	836	100.0	36.8

表－31 の続き

	10 代		20 代		30 代		40 代		50 代		60 代		白紙	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
①語学	3	75.0	73	47.4	88	37.9	88	35.3	44	27.2	8	25.8	2	50.0
②エクセルなどの PC・IT 技術	2	50.0	63	40.9	104	44.8	89	35.7	54	33.3	2	6.5	1	25.0
③免許、資格の取得	2	50.0	50	32.5	66	28.4	70	28.1	41	25.3	7	22.6	3	75.0
④料理、和洋裁、メイクなどの技術系	0	0.0	20	13.0	25	10.8	28	11.2	26	16.0	4	12.9	1	25.0
⑤書道、絵画、音楽など芸術系	0	0.0	14	9.1	30	12.9	30	12.0	26	16.0	8	25.8	0	0.0
⑥茶道、歴史、文学などの文化系	0	0.0	8	5.2	13	5.6	12	4.8	12	7.4	6	19.4	0	0.0
⑦スポーツジムなどの健康・運動系	2	50.0	41	26.6	58	25.0	64	25.7	48	29.6	10	32.3	0	0.0
⑧株式、資産運用等の金融系	0	0.0	32	20.8	60	25.9	46	18.5	24	14.8	3	9.7	0	0.0
⑨ガーデニング、農業等の自然系	0	0.0	6	3.9	16	6.9	22	8.8	23	14.2	6	19.4	0	0.0
その他	0	0.0	3	1.9	6	2.6	16	6.4	7	4.3	2	6.5	0	0.0
分母数（したい人）	4	100.0	154	100.0	232	100.0	249	100.0	162	100.0	31	100.0	4	100.0

表－32 「学んでみたいテーマ」についての年次比較(回答者数の比率)

(%)

	男性			女性			全体		
	2003 年	2011 年	2021 年	2003 年	2011 年	2021 年	2003 年	2011 年	2021 年
語学	21.0	16.7	11.6	21.8	21.1	22.5	21.2	17.5	13.5
エクセルなど PC、IT 技術	33.9	15.2	13.5	28.2	19.9	17.0	32.4	16.1	13.9
免許、資格の取得	25.6	16.7	10.3	25.2	10.6	11.6	25.4	15.4	10.5
簿記、経理など実務研修	4.6	4.0		3.1	6.3		4.1	4.5	
料理、和洋裁、メイク等技術		3.4	2.8		14.0	13.8		5.6	4.6
書道、絵画、音楽等芸術			3.1			13.2		8.0	4.8
華道、茶道、書道等趣味講座	6.0	5.1		21.4	19.1		10.2	8.0	
茶道、歴史、文学など文化系			1.9			4.5			2.3
歴史、文学、文芸、文化		5.8			18.5			6.1	
スポーツジム、など健康・運動	17.3	14.0	8.5	19.1	24.9	17.5	17.7	16.2	9.8
株式(年金)、資産運用など金融系		4.6	7.5		3.6	7.1		4.4	7.3
ガーデニング、農業等自然		3.2	3.1		6.3	4.5		3.8	3.2
一般教養	7.1			9.9			7.9		
社会カルチャー	3.1			7.5			4.3		
労働法知識、判例、法務知識		5.8			5.3			5.7	
その他	5.7	4.3	1.5	7.1	3.0	1.3	6.1	4.0	1.5

9、学習や習い事に費やせる金額は「1万円まで」

問7では、「学習や習い事に費やせる金額は1ヶ月にどの程度か」尋ねました。「1万円まで」が一番多く、26.3%を占めますが、「ほとんどない」も20.7%を占め、「2,000円まで」「4,000円まで」を含めると半数近くを占めます。「1万円以上」の合計はわずか7.0%にとどまります。女性では「ほ

「ほとんどない」は7.4%と少なく、「1万円まで」が30.2%を占めています。年齢別による差異はあまりみられませんでした。性別による若干の差異はあるものの、学習や習い事に対する意欲が必ずしも「費やせる金額」には反映せず、厳しい一面もあるようです（表－33）。

「学習に費やせる金額」を「学習を新しく始めたい、又は継続したい」とする人ではどうかをみると、「1万円まで」が37.3%、「6,000円まで」が19.7%で、「学習したい、継続したい」人でも概ね「5,000円から1万円まで」が許容範囲のようです（表－34）。

また、前回（2011年）の調査でも同じような問を設けていますが、前回は、労働学校の授業料の検討をしていた経過もあり、「学習で費やせる授業料は1ヶ月にどの程度か」との設問で、それによると「6,000円以下」が66.5%でした。今回が65.3%（「6,000円まで」の合算と「ほとんどない」の合計）ですから、学習に費やせる金額はなかなかシビアであると言えます。

表－33 問7 学習や習い事に費やせる金額（／月）は？（性別・年代別集計）

	男性		女性		回答しない		白紙		合計	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
①2,000円まで	227	12.4	46	12.2	2	5.0	3	15.0	278	12.2
②4,000円まで	290	15.8	60	15.9	6	15.0	4	20.0	360	15.9
③6,000円まで	288	15.7	84	22.2	2	5.0	1	5.0	375	16.5
④10,000円まで	470	25.7	114	30.2	9	22.5	5	25.0	598	26.3
⑤15,000円まで	64	3.5	31	8.2	1	2.5	2	10.0	98	4.3
⑥15,000円以上	54	2.9	8	2.1	0	0.0	0	0.0	62	2.7
⑦ほとんどない	420	22.9	28	7.4	19	47.5	4	20.0	471	20.7
白紙	19	1.0	7	1.9	1	2.5	1	5.0	28	1.2
合計	1832	100.0	378	100.0	40	100.0	20	100.0	2270	100.0

	10代		20代		30代		40代		50代		60代		白紙	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
①2,000円まで	7	36.8	47	11.7	74	12.5	86	12.2	47	10.5	16	17.0	1	7.7
②4,000円まで	3	15.8	69	17.2	93	15.8	100	14.2	77	17.2	15	16.0	3	23.1
③6,000円まで	1	5.3	68	16.9	85	14.4	114	16.2	89	19.9	16	17.0	2	15.4
④10,000円まで	1	5.3	113	28.1	159	26.9	199	28.2	108	24.2	16	17.0	2	15.4
⑤15,000円まで	2	10.5	10	2.5	25	4.2	30	4.3	24	5.4	7	7.4	0	0.0
⑥15,000円以上	2	10.5	10	2.5	20	3.4	20	2.8	6	1.3	4	4.3	0	0.0
⑦ほとんどない	3	15.8	79	19.7	129	21.9	147	20.9	92	20.6	17	18.1	4	30.8
白紙	0	0.0	6	1.5	5	0.8	9	1.3	4	0.9	3	3.2	1	7.7
合計	19	100.0	402	100.0	590	100.0	705	100.0	447	100.0	94	100.0	13	100.0

表－34 学習や習い事に費やせる金額(問6とのクロス集計)

	①新しく始めたい、又は現在してる学習を継続したい		②始めたいとは思わない、又は継続したくない		③わからない		白紙		合計	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
①2,000 円まで	78	9.4	68	12.0	121	14.8	11	21.2	278	12.2
②4,000 円まで	122	14.6	76	13.4	153	18.8	9	17.3	360	15.9
③6,000 円まで	164	19.7	69	12.1	136	16.7	6	11.5	375	16.5
④10,000 円まで	311	37.3	105	18.5	178	21.8	4	7.7	598	26.3
⑤15,000 円まで	71	8.5	8	1.4	19	2.3	0	0.0	98	4.3
⑥15,000 円以上	45	5.4	9	1.6	7	0.9	1	1.9	62	2.7
⑦ほとんどない	41	4.9	224	39.4	193	23.7	13	25.0	471	20.7
白紙	2	0.2	10	1.8	8	1.0	8	15.4	28	1.2
合計	834	100.0	569	100.0	815	100.0	52	100.0	2270	100.0

10、自己研鑽の必要性「感じる」は7割

問8では、「現在の職業・仕事、またセカンドキャリアや転職など将来に向けて、学習や習い事を通じた自己研鑽の必要性を感じるか」を、「現在の職業」と「将来について」に分けて尋ねました。

現在の職業・仕事については「常を感じる」（20.6%）「時々感じる」（42.6%）を合わせて63.2%にのびります。特に20代では70.9%に達します。他方、「余り感じない」は25.0%と4分の1にとどまりますが、女性より男性、若年層より高年齢層の方に感じる必要性は薄くなっています。セカンドキャリア、転職への思いが少なくなっていることの現れかもしれません（表－35）。

将来についても「感じる」の合計は70%近くにのび、特に20代、30代でその思いが強くなっています（表－36）。

表－35 問8 現在、及び将来に向け学習を通じた自己研鑽の必要性を感じるか(性別集計)

	男性		女性		回答しない		白紙		合計	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
①常を感じる	356	19.4	96	25.4	9	22.5	6	30.0	467	20.6
②時々感じる	793	43.3	159	42.1	11	27.5	4	20.0	967	42.6
③余り感じない	474	25.9	74	19.6	15	37.5	5	25.0	568	25.0
④わからない	202	11.0	47	12.4	5	12.5	4	20.0	258	11.4
白紙	7	0.4	2	0.5	0	0.0	1	5.0	10	0.4
合計	1832	100.0	378	100.0	40	100.0	20	100.0	2270	100.0
〈将来について〉										
①常を感じる	444	24.2	114	30.2	12	30.0	6	30.0	576	25.4
②時々感じる	822	44.9	169	44.7	10	25.0	7	35.0	1008	44.4
③余り感じない	321	17.5	44	11.6	11	27.5	2	10.0	378	16.7
④わからない	227	12.4	48	12.7	6	15.0	4	20.0	285	12.6
白紙	18	1.0	3	0.8	1	2.5	1	5.0	23	1.0
合計	1832	100.0	378	100.0	40	100.0	20	100.0	2270	100.0

表－36 現在、及び将来に向け学習を通じた自己研鑽の必要を感じるか(年代別集計)

	10代		20代		30代		40代		50代		60代		全体合計	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
①常に感じる	4	21.1	87	21.6	134	22.7	150	21.3	73	16.3	14	14.9	467	20.6
②時々感じる	6	31.6	198	49.3	246	41.7	302	42.8	181	40.5	31	33.0	967	42.6
③余り感じない	4	21.1	78	19.4	152	25.8	175	24.8	123	27.5	35	37.2	568	25.0
④わからない	5	26.3	37	9.2	57	9.7	77	10.9	66	14.8	13	13.8	258	11.4
白紙	0	0.0	2	0.5	1	0.2	1	0.1	4	0.9	1	1.1	10	0.4
合計	19	100.0	402	100.0	590	100.0	705	100.0	447	100.0	94	100.0	2270	100.0
〈将来について〉														
①常に感じる	4	21.1	118	29.4	179	30.3	164	23.3	90	20.1	16	17.0	576	25.4
②時々感じる	7	36.8	189	47.0	252	42.7	334	47.4	193	43.2	29	30.9	1008	44.4
③余り感じない	4	21.1	49	12.2	84	14.2	120	17.0	87	19.5	34	36.2	378	16.7
④わからない	4	21.1	43	10.7	69	11.7	80	11.3	72	16.1	14	14.9	285	12.6
白紙	0	0.0	3	0.7	6	1.0	7	1.0	5	1.1	1	1.1	23	1.0
合計	19	100.0	402	100.0	590	100.0	705	100.0	447	100.0	94	100.0	2270	100.0

11、高い「学習意欲」

問9では、毎回継続している設問である「学習や習い事に対する意欲や気持ち」を尋ねました。いろんな「制約があっても是非したい」は男性が9.3%、女性が14.0%と少数ですが、時間や経済的負担、設備などの「条件を整えたい」という人は男性が64.1%、女性が70.9%と高い意欲が示されています。特に女性で高い意欲が示されています。これまでの年次推移をみても低下傾向にあるものの、学習意欲は高い水準が維持されていると言えるのではないのでしょうか（表－37、38）。

表－37 問9 学習や習い事に対する気持ちに近いもの(性別・年代別集計)

	男性		女性		回答しない		白紙		合計	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
①時間や経済的、物理的制約があっても是非したい	170	9.3	53	14.0	4	10.0	1	5.0	228	10.0
②時間の余裕ができればしたい	703	38.4	171	45.2	8	20.0	7	35.0	889	39.2
③経済的余裕ができればしたい	432	23.6	86	22.8	7	17.5	4	20.0	529	23.3
④オンライン講義など、物理的制約が解消されれば行いたい	40	2.2	11	2.9	2	5.0	3	15.0	56	2.5
⑤学習や習い事はしたくない	258	14.1	19	5.0	8	20.0	2	10.0	287	12.6
⑥わからない	208	11.4	33	8.7	10	25.0	2	10.0	253	11.1
⑦その他	13	0.7	5	1.3	1	2.5	0	0.0	19	0.8
白紙	8	0.4	0	0.0	0	0.0	1	5.0	9	0.4
合計	1832	100.0	378	100.0	40	100.0	20	100.0	2270	100.0

表－37 の続き

	10 代		20 代		30 代		40 代		50 代		60 代		白紙	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
①時間や経済的、物理的制約があっても是非したい	0	0.0	25	6.2	70	11.9	77	10.9	44	9.8	10	10.6	2	15.4
②時間の余裕ができればしたい	8	42.1	190	47.3	238	40.3	267	37.9	153	34.2	29	30.9	4	30.8
③経済的余裕ができればしたい	5	26.3	100	24.9	127	21.5	176	25.0	99	22.1	22	23.4	0	0.0
④オンライン講義など、物理的制約が解消されれば行いたい	0	0.0	8	2.0	11	1.9	17	2.4	15	3.4	4	4.3	1	7.7
⑤学習や習い事はしたくない	4	21.1	44	10.9	81	13.7	81	11.5	59	13.2	17	18.1	1	7.7
⑥わからない	2	10.5	29	7.2	58	9.8	81	11.5	69	15.4	10	10.6	4	30.8
⑦その他	0	0.0	4	1.0	4	0.7	5	0.7	5	1.1	1	1.1	0	0.0
白紙	0	0.0	2	0.5	1	0.2	1	0.1	3	0.7	1	1.1	1	7.7
合計	19	100.0	402	100.0	590	100.0	705	100.0	447	100.0	94	100.0	13	100.0

表－38 「学習や習い事に対する意欲や気持ち」の年次推移(回答者中の比率)

(%)

	男性				女性			
	1994 年	2003 年	2011 年	2021 年	1994 年	2003 年	2011 年	2021 年
現在の仕事に必要なだから	30.0	19.9	16.7	6.6	15.6	21.4	14.2	7.9
今後の仕事に活かす、又は仕事にかかる自己研鑽のため	3.8	15.5	24.7	15.8	6.8	15.3	20.1	20.1
資格を取るため	22.3	12.3	6.5	7.4	18.0	13.6	10.0	7.1
労働組合や社会活動に活かすため	10.2	4.0	4.5	2.3	9.3	2.4	1.9	2.6
自分の趣味を豊かにするため	43.8	25.8	27.4	14.3	60.0	38.8	51.6	32.5
自己研鑽、教養、知的好奇心のため	23.3	19.6	20.0	13.4	24.4	23.5	29.6	23.0
その他（特にないやわからないも含む）	7.3	2.1	36.0	37.1	11.7	3.1	19.4	29.1
したいとは思わない	11.5	12.9	4.2	27.6	2.9	9.2	5.7	13.2

まとめ

ほぼ 10 年の単位で行っているアンケートですが、学習や習い事を「している」人は減少し、「学習したい、継続したい」という人の割合も低下しています。今回は、実施時期が新型コロナ感染の急拡大による「緊急事態措置」の期間（2021 年 8 月 20 日～9 月 30 日）の直後ということも影響していると思われます。「外出自粛」「ディスタンス」「マスク着用」など感染予防対策の定着は私たちの生活のあり様をも変えているようです。帰宅時間は早まり、自宅での時間は増えても行動範囲は制約され、学習や習い事、或いは友人などとの接触の機会が失われているように思われます。

また、在宅時間が長くなる中でオンラインによる講座や研修会も増え、インターネットの普及、進化の中で、検索や各種講習の受講などが容易に出来る環境も生まれています。

しかし、今後についての学習意欲は高い水準が維持され、環境を整えたいという人は多く、マ

ツチングをどのように形成していくか、引き続いて重要な課題といえます。

一方で、私達の求める社会生活が「文化的で」「ゆとりある」ものであるとすれば、学習や習い事が出来るかどうかは一つのバロメーターになり得ると思います。今回の調査対象者は殆どが正社員で、多くが大企業従事者、いわば比較的「恵まれている」人達といえるもので、そうした人達でも学習や習い事については「時間の余裕ができれば」「経済的余裕ができれば」との条件が必須のようです。

学習や習い事の出来る環境づくりはとてつもなく大きな壁のようにも思えます。わが国の労働者を取り巻く環境について、「文化的生活」の視点から今一度考えてみる必要があるのではないのでしょうか。